

KSKP

たびだち つうしん

出

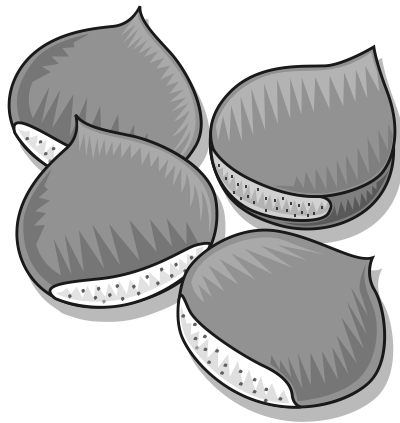
発

通

信

152号

NPO法人 出発のなかまの会



目次

わたしぬ わたし	私たち抜きに私たちのことを決めないで!	2
たかとりやま	高取山キャンプに行きました	3
しんぶん	どんどん新聞116号より	4~5
ぼしよ しょく のう	ゆるやかにつながっていける場所を~食と農のプロジェクト報告~	6
そうかい	NPO総会&どんどん総会を終えて	7
わたし	私たちは地域で暮らしているんだ	7
こそだ	子育てスタッフ日記	8
にんてい	認定NPO法人格取得のご報告	9
かつどう	活動のあと①	9
かつどう	活動のあと②	10

一九八四年 八月二十日 第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行



# 私たち抜きに私たちのことを決めないで！

障害者自立支援法成立以降の障害者運動の大きなうねりが今、一つの到達点に至ろうとしています。2003年の支援費制度の創設によって福祉事業は「措置」から「契約」になりました。しかしその後成立した自立支援法では利用者負担を利益負担にしたことで福祉サービスを使えば使うほど利用者の負担が大きくなるというものでした。そこから猛反対の嵐が巻き起こりました。国では集中的に障害者施策の改革に取り組むために、2009年にさまざまな障害をもつ当事者が参画する「障がい者制度改革推進会議」が内閣府に設置されました。当事者が参画したことは極めて画期的なことでした。この推進会議で障害者施策に関する基本方針が話し合わせ、国連の「障害者の権利に関する条約（「障害者権利条約」）」の批准を目指して国内法の整備にとりかかりました。2011年に障害者基本法の改正と障害者に対する虐待を防止する法律が成立、施行されました。その後、障害者自立支援法は障害者総合支援法に変わり、2013年には「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が制定され、ついに2014年1月20日に障害者権利条約が批准されました。

権利条約批准に向けた一連の障害者施策改革は障害者解放運動におけるひとつの到達点だと思えます。障害者差別解消法によって、国の行政機関や地方公共団体には合理的配慮が義務化され、民間事業者にも努力義務として求められるようになりました。

ところで、障害者差別解消法が成立したとき、私は“解消”という言葉に“禁止”ではないのかという違和感をもちました。それと同時に以前にも同じ感覚をもったことを思い出しました。それは男女共同参画基本法が成立したときに感じたものでした。当時、私は大学生でした。どうして“女性差別禁止法”のような目的をストレートに表す法律名にしないのかと思いました。問題の核心をずらされ、お茶を濁されたような気分がしたのを覚えています。

現在、各地で障害者に対する差別禁止を定めた条例が制定されつつあります。大阪府でも条例制定に向けて話し合いがもたれているところです。何が差別にあたるのかというガイドラインづくりも大切ですが、差別が起きたときの実効力のある解決の仕組みづくりが求められます。障害者差別解消法を骨抜きにさせないように強く訴え続けていかなければなりません。

「何回言ったらわかるんですか？」行政との話し合いの場で発言したメンバーの言葉には積年の怒りがにじみ出ていました。障害者の権利を守る法制度は整備されましたが、障害者が自分らしく生きていけると本当に思えるようになるまでの道程はこれからも続きます。私は、「私たち抜きに私たちのことを決めないで “Nothing About Us Without Us” という言葉を胸に、これからもさまざまな「生きづらさ」を抱えながら生きる人たちとともに歩み続けたいと思います。（カオリ・I）



たかとりやま  
高取山キャンプに行きました

8月(がつ)にみらくるクラブの夏(なつ)キャンプをおこないました。朝(あさ)からの雨(あめ)も集(しゅうごう)時間(じかん)には降(ふ)りやみ、子(こ)も17名(めい)、親(おや)御(ご)さん9名(めい)、ス(ス)タッフ・ボ(ボ)ラン(ラ)ン(ン)ティア18名(めい)、総(そう)勢(せい)44名(めい)を乗(の)せたバ(バ)ス(ス)が滋(し)賀(が)県(けん)高(たか)取(と)山(やま)にむ(む)しゅ(しゅ)っ(っ)ぱ(ぱ)つ(つ)出(で)発(はつ)し(し)ま(ま)した(した)。

到(とう)着(ちゃく)後(ご)、は(は)じ(じ)ま(ま)り(り)の(の)会(かい)、昼(ちゅう)食(しょく)の(の)後(あと)、ア(ア)ス(ス)レ(レ)チ(チ)ック(ック)や(や)そ(そ)り(り)す(す)べ(べ)り(り)を(を)し(し)て(て)遊(あそ)び(び)ま(ま)した(した)。た(た)く(く)さ(さ)ん(ん)遊(あそ)ん(ん)だ(だ)後(あと)は(は)夕(ゆう)食(しょく)作(つく)り(り)、メ(メ)ニ(ニ)ュー(ュー)は(は)『巨(きょ)大(だい)オ(オ)ム(ム)ラ(ラ)イス(イス)、ピ(ピ)ザ(ザ)、ス(ス)ー(ー)プ(プ)、き(き)な(な)こ(こ)だ(だ)ん(ん)ご(ご)』で(で)す(す)。火(ひ)お(お)こ(こ)し(し)担(たん)当(とう)の(の)A(ア)君(くん)(小(しょう)学(がく)1(ねん)生(せい))は(は)う(うち)わ(わ)を(を)一(いっ)生(しょう)懸(けん)命(めい)あ(あ)お(お)い(い)で(で)炎(えん)を(を)大(だい)き(き)く(く)し(し)て(て)「あ(あ)つ(つ)い(い)！」と(と)い(い)な(な)が(が)ら(ら)も(も)がん(がん)ば(ば)っ(っ)て(て)い(い)ま(ま)した(した)。巨(きょ)大(だい)オ(オ)ム(ム)ラ(ラ)イス(イス)は(は)フ(フ)ラ(ラ)イ(イ)パ(パ)ン(ン)で(で)80個(こ)の(の)卵(たまご)を(を)い(い)り(り)た(た)ま(ま)ご(ご)に(に)し(し)て(て)、具(ぐ)と(と)一(いっ)緒(しょ)に(に)炊(た)いた(いた)ご(ご)は(は)ん(ん)の(の)上(う)に(に)の(の)せ(せ)ま(ま)した(した)。ピ(ピ)ザ(ザ)は(は)昼(ちゅう)食(しょく)後(ご)に(に)練(ね)っ(っ)て(て)発(はっ)酵(こう)さ(さ)せ(せ)て(て)お(お)い(い)た(た)生(せい)地(ぢ)を(を)広(ひろ)げ(げ)、ト(ト)ッ(ッ)ピ(ピ)ン(ン)グ(グ)を(を)の(の)せ(せ)て(て)お(お)お(お)が(が)ま(ま)や(や)大(だい)窯(やう)で(で)焼(や)き(き)ま(ま)した(した)。ツ(ツ)ナ(ナ)、コ(コ)ーン(ーン)、ト(ト)マ(マ)ト(ト)、玉(たま)ね(ね)ぎ(ぎ)、ピー(ピー)マン(マン)、チ(チ)ーズ(ーズ)と(と)ト(ト)ッ(ッ)ピ(ピ)ン(ン)グ(グ)を(を)た(た)く(く)さ(さ)ん(ん)の(の)せ(せ)た(た)山(やま)盛(もり)ピ(ピ)ザ(ザ)が(が)で(で)き(き)ま(ま)した(した)。完(かん)成(せい)し(し)た(た)料(りょう)理(り)は(は)ど(ど)れ(れ)も(も)お(お)い(い)しく(しく)、大(だい)成(せい)功(こう)で(で)した(した)！



食(しょく)事(じ)の(の)後(あと)は(は)キ(キ)ャ(ャ)ン(ン)プ(プ)フ(フ)ァ(ァ)イ(イ)ヤ(ヤ)ー(ー)で(で)す(す)。火(ひ)を(を)灯(とも)す(す)た(た)め(め)に(に)「火(ひ)の(の)女(め)神(かみ)」が(が)来(き)て(て)く(く)れ(れ)ま(ま)した(した)。子(こ)も(も)た(た)ち(ち)は(は)驚(おどろ)い(い)て(て)い(い)ま(ま)した(した)が(が)、白(しろ)い(い)布(ぬの)を(を)ま(ま)と(と)い(い)布(かお)で(で)顔(かく)を(を)隠(ひ)した(した)「火(ひ)の(の)女(め)神(かみ)」の(の)登(とう)場(じょう)で(で)、キ(キ)ャ(ャ)ン(ン)プ(プ)フ(フ)ァ(ァ)イ(イ)ヤ(ヤ)ー(ー)の(の)雰(ふん)囲(い)気(き)は(は)ぐ(ぐ)っ(っ)と(と)盛(も)り(り)上(あ)がり(が)り(り)ま(ま)した(した)。く(く)ん(ん)小(しょう)学(がく)3(ねん)生(せい)は(は)「火(ひ)の(の)女(め)神(かみ)」に(に)驚(おどろ)い(い)た(た)よ(よ)う(う)で(で)、光(ひか)る(る)棒(ぼう)を(を)剣(けん)の(の)よ(よ)う(う)に(に)し(し)て(て)戦(たたか)お(お)う(う)と(と)、「火(ひ)の(の)女(め)神(かみ)」を(を)追(お)い(い)か(か)け(け)て(て)は(は)、手(て)に(に)持(も)っ(っ)た(た)棒(ぼう)で(で)突(つ)こ(こ)う(う)と(と)し(し)て(て)い(い)ま(ま)した(した)。

い(い)つ(つ)も(も)は(は)お(お)と(と)な(な)しく(しく)静(しず)か(か)な(な)印(いん)象(しょう)の(の)C(シー)ちゃん(ちゃん)(3歳(さい))は(は)「火(ひ)の(の)女(め)神(かみ)」と(と)「手(て)を(を)つ(つ)な(な)ぎ(ぎ)たい(たい)」と(と)い(い)い(い)、ス(ス)タッフ(ッフ)に(に)女(め)神(かみ)を(を)呼(よ)んで(で)来(き)て(て)も(も)ら(ら)っ(っ)て(て)い(い)ま(ま)した(した)。『「火(ひ)の(の)女(め)神(かみ)」が(が)来(き)た(た)』と(と)い(い)う(う)こ(こ)と(と)が(が)、子(こ)も(も)た(た)ち(ち)に(に)と(と)っ(っ)て(て)は(は)ド(ド)キ(キ)ド(ド)キ(キ)し(し)た(た)し(し)、怖(こわ)か(か)っ(っ)た(た)け(け)ど(ど)、楽(たの)し(し)か(か)っ(っ)た(た)ん(ん)だ(だ)な(な)と(と)感(かん)じ(じ)ま(ま)した(した)。

2日(ふた)目(め)は(は)い(い)よ(よ)い(い)よ(よ)3チ(ち)ーム(ーム)に(に)分(わ)か(か)れ(れ)て(て)ハ(ハ)イ(イ)キ(キ)ン(ン)グ(グ)で(で)す(す)。D(ディー)君(くん)(小(しょう)学(がく)4(ねん)生(せい))は(は)歩(ある)き(き)な(な)が(が)ら(ら)カ(カ)エ(エ)ル(ル)や(や)カ(カ)ニ(ニ)を(を)見(み)つ(つ)け(け)て(て)は(は)追(お)い(い)か(か)け(け)、虫(むし)を(を)見(み)つ(つ)け(け)れ(れ)ば(ば)名(な)前(まえ)を(を)教(おし)えて(て)く(く)れ(れ)ま(ま)した(した)。自(しぜん)然(ぜん)の(の)生(せい)き(き)物(ぶつ)が(が)本(ほん)当(とう)に(に)好(す)き(き)で(で)、夢(むちゅう)中(ちゅう)に(に)な(な)っ(っ)て(て)楽(たの)し(し)ん(ん)で(で)い(い)る(る)様(よう)子(こ)が(が)印(いん)象(しょう)的(てき)で(で)した(した)。最(さい)後(ご)に(に)そ(そ)れ(れ)ぞ(ぞ)ろ(ろ)が(が)拾(ひろ)っ(っ)た(た)葉(は)や(や)、枝(えだ)や(や)、松(まつ)ぼ(ぼ)っ(っ)くり(くり)な(な)ど(ど)を(を)み(み)ん(ん)な(な)の(の)名(な)前(まえ)を(を)書(か)き(き)た(た)旗(はた)に(に)付(つ)け(け)て(て)集(しゅう)合(ごう)写(しゃ)真(しん)を(を)撮(と)り(り)ま(ま)した(した)。

初(は)め(め)て(て)キ(キ)ャ(ャ)ン(ン)プ(プ)に(に)参(さん)加(か)す(す)家(か)族(ぞく)や(や)初(は)め(め)て(て)ハ(ハ)イ(イ)キ(キ)ン(ン)グ(グ)を(を)す(す)る(る)子(こ)ら(ら)が(が)多(おお)か(か)っ(っ)た(た)今(こん)回(かい)は(は)、ド(ド)キ(キ)ド(ド)キ(キ)し(し)な(な)が(が)ら(ら)も(も)、日(にち)常(じょう)生(せい)活(かつ)で(で)は(は)な(な)か(か)な(な)か(か)経(けい)験(けん)で(で)き(き)な(な)い(い)こ(こ)と(と)に(に)チャ(チャ)レ(レ)ン(ン)ジ(ジ)す(す)機(き)会(かい)に(に)な(な)っ(っ)た(た)よ(よ)う(う)で(で)す(す)。池(いけ)に(に)入(はい)っ(っ)て(て)、カ(カ)エ(エ)ル(ル)や(や)カ(カ)ニ(ニ)を(を)つ(つ)か(か)ま(ま)え(え)る(る)こ(こ)と(と)に(に)も(も)、袋(ふくろ)い(い)っぱ(ぱ)い(い)松(まつ)ぼ(ぼ)っ(っ)くり(くり)を(を)み(み)つ(つ)け(け)る(る)こ(こ)と(と)に(に)も(も)、子(こ)も(も)た(た)ち(ち)は(は)目(め)を(を)輝(かが)か(か)せ(せ)て(て)一(いっ)生(しょう)懸(けん)命(めい)で(で)した(した)。ま(ま)た(た)、高(こう)学(がく)年(ねん)の(の)子(こ)が(が)年(ねん)下(か)の(の)子(こ)と(と)一(いっ)緒(しょ)に(に)遊(あそ)んで(で)面(めん)倒(たう)を(を)み(み)たり(り)、子(こ)も(も)同(どう)土(ど)の(の)関(かん)わり(り)が(が)自(しぜん)然(ぜん)と(と)う(う)ま(ま)れ(れ)たり(り)し(し)た(た)の(の)も(も)良(よ)か(か)っ(っ)た(た)な(な)と(と)感(かん)じ(じ)ま(ま)した(した)。

今(こん)回(かい)の(の)キ(キ)ャ(ャ)ン(ン)プ(プ)も(も)た(た)く(く)さ(さ)ん(ん)の(の)ボ(ボ)ラン(ラ)ン(ン)ティア(ティア)の(の)方(かた)々(た)に(に)参(さん)加(か)し(し)て(て)い(い)た(た)だ(だ)き(き)、あ(あ)り(り)が(が)と(と)う(う)ご(ご)ざ(ざ)い(い)ま(ま)した(した)。

ま(ま)た(た)来(らい)年(ねん)も(も)み(み)ん(ん)な(な)で(で)楽(たの)しい(い)こ(こ)と(と)に(に)チャ(チャ)レ(レ)ン(ン)ジ(ジ)し(し)たい(い)です(す)ね(ね)☆

(マサミ・G)

しんぶん  
どんどん新聞No.116



はっこうび 2014 年 7 月 31 日  
発行日

はっこうしゃ じりつせいかつ  
発行者 自立生活センター・どんどん

おおさかしいくのくたしま  
大阪市生野区田島1-10-30

tel 06-6758-6641 fax 06-6758-6749



アイエルピー

へんだい かいめ  
ILPおしゃれ編第1回目をしました。

ねん がつ にち ど ぼしよ いくのくみん ころしつ  
2014年4月12日(土) 場所:生野区民センター102号室

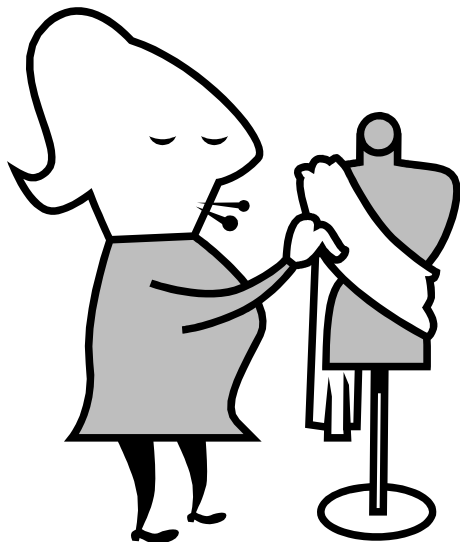
### ◆おしゃれな服ほしいな～

アイエルピー - へんだい かいめ しゅうりよう こんかい にん さんか  
ILPおしゃれ編第1回目が終了しました。今回は8人が参加し、とてもにぎやかでした。

Aさんをはじめて参加しました。BさんやCさんとは知り合いで、会ったとたんに、“ひさし  
ぶり～”と嬉しそうに挨拶をしていました。

自己紹介が終わった後、おしゃれについて話し合いをしました。まず、「おしゃれってなん  
だろう？」と参加者全員で話し合いました。Dさんは、「革や」と言いながら、かっこいい革製  
の手袋をみんなに自慢していました。Cさんは、「アクセサリーをつけることが、おしゃれ」  
と言って、きれいなビーズのブレスレットを見せてくれました。

次に、おしゃれしたらどんな気持ちになるか話し合いました。“楽しい”、“テンションがあ  
がる”など、いろいろな意見が挙がりました。“モテそう”という意見もありました。



おしゃれをするときに困ることについても話し合いました。

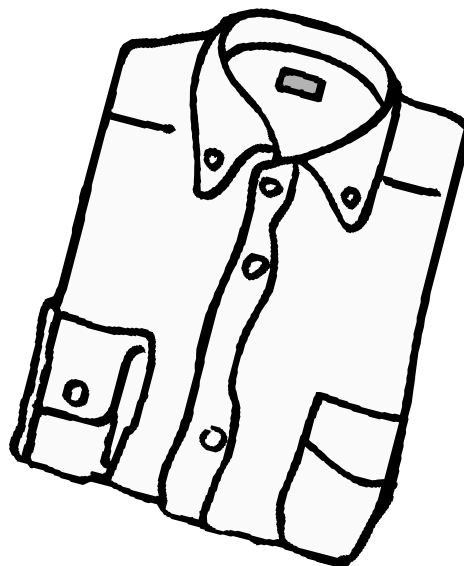
“腹が出る”、“サイズがない”という体型についての意見、

好きな色の服を持っていないという意見がでました。Eさん

は、“21年間、お母さんが買って来る。自分で買ったことな

いです”と話し、参加者全員が“えーっ！”と驚きました。

話し合いが終わった後で、自分の顔写真を貼った紙に、雑誌で見つけた“着たい服”の写真  
 を貼ってみました。Fさんは、黒いドレスと、ベージュのジャケットの写真を選びました。普段  
 はかわいい服をよく着ていて、“ピンクのかわいい服が好き”だと思われていたので、みんな  
 びっくりしました。Gさんは、「青です！」と言いながら、青いシャツの写真を真剣な表情で  
 貼りました。Bさんは、いろいろな雑誌を見ながら、自分の好みに合う靴を必死で探しました。  
 Dさんは、自分で持ってきた革のファッション雑誌を見ながら、楽しそうに選びました。Cさ  
 さんは、ギャル系メイクをしたいと言って、見学に来ていたメイクボランティアの方に、どうし  
 たらいいか相談しました。Aさんは、「赤が好き」と言って赤い上着の写真を選んでいました。  
 Hさんは、ニコニコしながら、上から下まで白い服を選びました。Eさんは、お気に入りのC  
 Dを持ち、ポーズを決めた写真を撮りました。「自分で服を買ったことがない」という人もい  
 たので、3回目のファッションショーまでに、みんなで服を買いに行ってみようと思います。  
 みんなが気に入った服を選べるといいなと思います。





ゆるやかにつながっていける場所を～食と農のプロジェクト報告～

前号の通信でもお知らせしましたが、「生野区で空地・空家利用をすすめるための食と農のプロジェクト」が始動しました！ 現在、生野区生野東の“青田農園”と“松野農園”の2ヶ所をお借りしてプロジェクトをすすめています。

“青田農園”は、持主のおばあちゃん（一人暮らし）が現在入院中で、手入れもできず荒れてしまった畑地を、おばあちゃんが見慣れた以前の畑の風景になるように整地し、野菜を植えはじめています。家の離れにだれか住んでくれる人がいれば、安心して戻ってきてもらえるのではないかと、離れの借主も募集中です。年をとってから、見慣れない場所・殺風景なところに引っ越すのは嫌だ、という声はよくお聞きします。また、若い方が大阪市内で暮らすには高い家賃がネックになっています。家をシェアすることで、お互いに声をかけあいながら、安心して暮らせる、活気のある街にしていくきっかけになればと思っています。

“松野農園”は、元・助産院でしたが、長い間空家状態になっていました。庭は都会に突然現れた“森”のような状態で、一目見た瞬間、「ここはきっと、素敵な場所になる！」、そんな予感がしました。庭に生えた竹の根っこが横へ横へと地面を広がり、家の建物の下からも生えて床を突き破っていましたが、私たちがお借りした後、屋根まで突き破って雨漏りし始めていました。改修工事は、まず、屋根に開いた大きな穴を塞ぐところから始まりました。屋根には透明の波板を張り、トプライトにすることで、古い民家に明るい太陽の光が差し込みました。道路と面した壁も取りはらい、透明ガラスの木製建具をつけてもらうことで、道路側からも明るい室内、庭の畑が見通せる気持ちのよい空間ができあがりました。

庭を畑地に整備するのは、“竹との闘い”です。掘っても掘っても出てくる竹の根や木の根を取り除いてはノコギリで切り、竹材として利用したり、ゴミとして処分したりしています。改修工事では出る廃材は、近所の銭湯に薪として引き取っていただきました。一気に整備されるわけではありませんが、庭が少し畑地になればそこにサトイモやオクラの苗を植え、メダカやモツゴをもらって水槽に飼い始め、近所の方々から食器を寄贈していただくなど、多くの人の手を借り、少しずつ、楽しみながら居心地のよい空間へと変わっていく様子には、訪れるたびに感動を覚えます。

この地域にいつのまにか増えてしまった空地・空家に風を通し、生命を吹き込みながら、高齢者や障害者、子どもなど地域に暮らすさまざまな人と人とがゆるやかにつながっていける場所を目指したいと思っています。生野のように人が密集して暮らしていても、社会とうまくつながることができず、孤立している人が非常に多くなっています。“ゆるやかなつながり”を求めることで、既存の福祉サービスの枠組みからは排除されている方々とも出会い、共に地域をつくっていくような活動をつくりだせたらと思っています。

今年度は独立行政法人・福祉医療機構から2,032,000円の助成をいただきましたので、有効に活用したいと思っています。建物は、人が使うことでどんどん元気になっていきます。ぜひ、一度、お訪ねください。

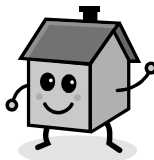
(ミサオ・K)



## そうかい NPO 総会 & どんどん 総会 を 終えて

2014年5月24日(土)KCC会館ホール(生野区)で第15回定期総会をおこないました。当日は101名の出席(うち委任状出席者は16名)で、定款に定める総会として進めることができました。例年通り、写真、イラスト、グラフを使って事業報告・決算報告・事業計画・予算が説明され、承認されました。認定NPO法人の取得に伴う定款変更についても承認されました。事業報告では、サービス向上のための「すきっぷのサービスをよくする会議」の実施報告などがありました。2014年度は、これからの作業所のあり方を含めた新しい拠点作りについての検討や、支え支えられる地域社会を作るために、地域の方々とつながり、さまざまな活動を展開していくことが確認されました。

後半は、自立生活センター・どんどの総会にうつり、メンバーさんの司会で進行されました。メンバーさんたちは、報告や発表の練習を何度も繰り返して、総会に挑みます。みなさん落ち着いて参加され、年々スムーズな流れで進めていけるようになっていきます。2014年度は、『未来に向けて、どんどの力を合わせよう!』『みんなで助け合おう!』『交渉で一生懸命、がんばろう!』『東北を応援しよう!』という4つの目標が決まりました。最後は、恒例の「どんどの歌」です。メンバーさんのピアノ伴奏に合わせ、参加者全員の大合唱で、総会は幕を閉じました。(ヨシミ!)



## わたし ちいき く 私たちは地域で暮らしているんだ

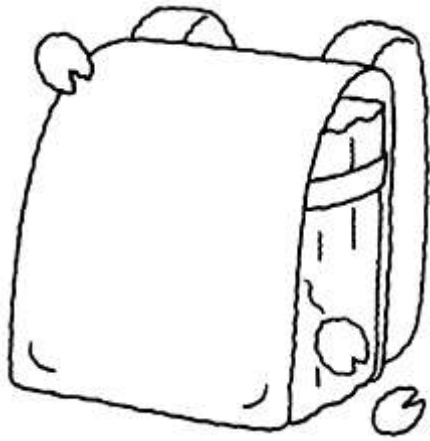
8月に、グループホーム「きらら」の近くの地蔵盆でじゃんけんゲームをして子供さんたちにお菓子を配るという企画をしました。メンバーも子供たちも一緒に楽しく遊ぶように、「グー」「チョキ」「パー」のイラスト入りの札をつかってじゃんけんをすることにしました。普通の「じゃんけん」はできない「きらら」のIさんも、この札を使って練習し、本番に臨みました。「じゃんけんゲーム!」と呼びかけるとたくさんの子供が集まってくれました。するとその場の雰囲気にも圧倒されたのか、Iさんが全く動けなくなってしまいました。しかし、同じく地蔵盆に来ていた、グループホーム「らいす」のTさんがピンチヒッターで参加され、楽しくゲームは終了しました。ゲームが終わると、盆踊りの輪ができて地域の皆さんが踊り出しました。興味深げに見つめるIさんに「踊る?」と聞くと「はい」と返事をされたので、地域の方に踊りを教えて頂きながらみんなで踊りの輪に入りました。



時々、雨がぱらつくあいにくのお天気でしたが、皆さんずっと良い笑顔で、祭りの最後の一曲までみんなで踊りました。祭りが終わり、世話役さんにご挨拶にいくと、地蔵盆が終わったところなのにもかかわらず、「また、来年も。」と、とても嬉しい言葉をかけて頂きました。「きらら」の恒例行事になりそうです。(ミカル・K)

こそだ にっき  
子育てスタッフ日記

ことし はる じなん しょうがくせい さんなん ようちえん かよ はし すこ じぶん て はな  
今年の春、次男は小学生になり三男は幼稚園に通い始めました。少しずつ自分の手を離れ  
ていき、寂しくもありうれしくもあります。



じなん ちい からだ おお せ お たの  
次男は、小さな体に大きなランドセルを背負い楽しそうに  
しょうがっこう かよ しょうがっこう かよ はし あたら  
小学校に通っています。小学校に通い始めてすぐに新しい  
ともだち つく しょうじき  
友達をたくさん作っていました。正直なところ、あまりそう  
いうタイプとは思っていなかったため驚かされました。新  
しいかんきょう おも おどろ  
しい環境にうまくなじめるのか、楽しく小学校に通えるの  
か、などと心配していたのですが、そんな心配の必要はあり  
ませんでした。こちらが思っている以上にたくましくせいちょう  
しているようです。ようちえん あに そつえん かよ  
幼稚園は兄が卒園してから通いはじめたの

しょうがっこう かい  
で、小学校にはいっしょに通えることがうれしいようです。しかし兄を見つけるとついうれ  
しくなりすぎてしまったようで、入学当初は小学校で兄を見つけると「おっさん！」と呼ん  
だり、ジャングルジムに登っている兄をみつけて下から足を引っ張ったりしたようで、兄から  
なみだ こうぎ げんざい お つ  
涙の抗議がありましたが現在は落ち着いているようです。

さんなん あに ようちえん かよ  
三男は、兄たちが幼稚園に通っていたこと  
ようちえん  
で幼稚園にはあこがれていたようで、通うこ  
とがすごくうれしそうでした。はつとうえん ひ  
初登園の日は、  
あに な の い  
兄ふたりは泣きながらバスに乗って行きま  
したが、さんなん な かよ  
三男は泣くこともなくすんなりと通  
いはじめました。もちろんきんちよう  
緊張はしていたよ  
うですが、たの ようちえんせいかつ おく  
うですが、楽しい幼稚園生活を送っているよ



ようちえん  
うで、幼稚園であったことをまいにちしょうさい ほうこく  
毎日詳細に報告してくれます。兄たちは幼稚園であったことを  
じぶんからあまりはな せんせい はなし き ようちえん ようす し  
自分からあまり話すこともなく、先生から話を聞いて幼稚園での様子を知ることができると  
いう感じだったので、さんなん ようちえん はな  
三男が幼稚園であったことを話してくれるのは毎日の楽しみになってい  
ます。

こ せいちょう おどろ すがた たの  
子どもたちの成長には驚かされることばかりです。そのような子どもたちの姿を、頼も  
しく感じる日々を送っています。

(シゲヒロ・M)





認定NPO法人格取得のご報告

当会は、1979年にボランティア活動をする任意団体として出発し、作業所、ヘルパー派遣、グループホームなどの事業をおこなってきました。1999年に特定非営利活動法人(NPO)格を取得し、事業はほとんど国事業となりました。また、支援を必要としていながら国事業としては認められない障害児・者とその家族への支援、共に生きる地域づくりへの取り組み、さらに、東日本大震災で被災された障害者への支援活動に取り組んできました。これらの取り組みをさらに伸展させていくために、「認定NPO法人」の申請をおこない、このたび認定されました。

★大阪市指令市市民活第14004号

★認定の有効期間 平成26年7月11日～平成31年7月10日

寄付者の皆様には、ご寄附いただいた上、申請過程で寄付確認書への記入にご協力いただき、本当にありがとうございました。当会は、これからも社会が抱えるさまざまな問題に積極的に関わりながら、問題解決に向けて尚一層取り組んでいきたいと思っております。これからも、ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

平成26年7月11日以降にご寄附いただいた場合、確定申告によって、所得税、法人税、相続税について税法上の優遇措置を受けることができるようになりました。大阪市内にお住いの方の住民税についても、税法上の優遇措置を受けられますが、手続きが遅れていますので、少しお待ちください。手続きが完了次第、報告させていただきます。確定申告に必要な領収証は、2015年1月頃に送りいたします。

活動のあと ①

4/1～23 区民ギャラリー作品出展	5/14 食と農のプロジェクトをすすめる会
4/3 作業所花見	生野区グループホーム連絡会世話人会
生野区自立支援訪問系事業者連絡会世話人会	5/15 障大連グループホーム部会
4/4 グループホームスタッフ全体会議	5/15～18 東北被災地訪問
4/9 生野区グループホーム連絡会	5/16 WAロン/障大連市内ブロック会議
4/10 生野区自立支援訪問系事業者連絡会	5/17 H I T 理事会
4/11 地域共生ケア生野推進委員会役員会	5/18 みらくるクラブ【ハイキング】(金剛山)
4/12 ILP(自立生活プログラム)講座(おしゃれ編)①	5/20～21 喀痰吸引等研修
4/13 すきっぷ日曜開所日	5/22 食と農のプロジェクトをすすめる会
4/14 Kさん応援会議	5/23 地域共生ケア生野推進委員会/障大連運営委員会
Pさんケア会議/桃山学院大学フィールドワーク説明会	5/24 NPO 総会・どんどん総会
4/16 とんぼまる親の会/食と農のプロジェクトをすすめる会	5/26 事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議
4/17 執行委員会	5/28 大阪府集団指導
4/18 大阪市市民局実地調査①(認定 NPO 法人)	5/29 和楽苦荘親の会/作業所ミーティング
WAロン/生野区子育て支援会議	見学受け入れ(箕面)/ 生野区学童期の子ども支援連絡会
4/21 合同初任者研修(生野区グループホーム連絡会主催)	5/30 内部研修(発達障害勉強会)
4/22 二者会議(親・職員)	5/31 ILP(自立生活プログラム)講座(おしゃれ編)②
4/23 出発通信発送作業	
4/24 作業所ミーティング/生野区学童期の子ども支援連絡会	6/1 Kさんドラマ発表会
4/25 障大連運営委員会	松野農園イベント(食と農のプロジェクトをすすめる会)
4/26 障大連総会	6/4 Sさん IFP(個人将来計画)会議
4/28 事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議	6/5 みらくるクラブ高取山キャンプ会議
	生野区自立支援訪問系事業者連絡会世話人会
5/1 生野区自立支援訪問系事業者連絡会世話人会	6/6 執行委員会/グループホームスタッフ全体会議
5/2 グループホームスタッフ全体会議	東北被災地訪問報告会
5/7 執行委員会	6/7 ILP(自立生活プログラム)講座(おしゃれ編)買い物
5/8 生野区自立支援訪問系事業者連絡会	H I T 総会
5/9 理事会	6/8 すきっぷ日曜開所日
5/10 すきっぷ土曜開所日	6/10 Uさん IFP(個人将来計画)会議
5/11 グッドスタート会議	

活動のあと ②

6/11 食と農のプロジェクトをすすめる会 生野区グループホーム連絡会	7/29 どんどん対府交渉練習
6/12 生野区自立支援訪問系事業者連絡会	7/31 Mさん IFP(個人将来計画)会議
6/13 内部研修(精神医学の勉強会)	8/1 グループホームスタッフ全体会議
6/16 Kさん応援会議	8/2~3 みらくるクラブ【高取山キャンプ】
6/17 大阪教育大学講演(どんどん)	8/4 「関西☆なう」被災障害者家族との交流会
6/18 Kさん IFP(個人将来計画)会議	8/5 大阪府オールラウンド交渉①
6/20 Nさんケア会議/WA ロン 地域共生ケア生野推進委員会役員会	8/6 Kさん IFP(個人将来計画)会議 みらくるクラブ高取山キャンプ振り返り会 みらくるクラブ西穂登山会議
6/21 知的障害者(児)が「ハバ」養成講座 (生野区自立支援訪問系事業者連絡会)	8/7 大阪府オールラウンド交渉②/ Kさん IFP(個人将来計画)会議 生野区自立支援訪問系事業者連絡会 地域共生ケアモデル事業説明会
6/23 大阪府市民局実地調査①(認定 NPO 法人)/みらくる学習会	8/8 執行委員会/内部研修(精神医学の勉強会)/Sさんケア会議
6/24 Tさん IFP(個人将来計画)会議/内部研修(発達障害学習会)	8/11 作業所ミーティング/Kさん応援会議
6/25 大阪体育大学講演(どんどん) みらくるクラブ西穂登山会議	8/20 食と農のプロジェクトをすすめる会 生野区グループホーム連絡会
6/26 障大連グループホーム部会/作業所ミーティング 生野区学童期の子ども支援連絡会	8/22 内部研修(精神医学の勉強会)/WA ロン/障大連運営委員会 地域共生ケア生野推進委員会役員会
6/27 桃栗館親の会 内部研修(精神医学の勉強会)/内部研修(喀痰吸引等研修) 生野区子育て支援会議/障大連運営委員会	8/27 Sさん IFP(個人将来計画)会議
6/28 ILP(自立生活プログラム)講座(おしゃれ編)③	8/28 Kさん IFP(個人将来計画)会議 すきっぷのサービス支援をよくする会議
6/30 事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議	8/25 事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議
7/3 生野区自立支援訪問系事業者連絡会世話人会	8/26 Sさんケア会議
7/4 執行委員会/グループホームスタッフ全体会議 Sさんケア会議 Tさんケース会議	8/30 松野農園イベント(食と農のプロジェクトをすすめる会)
7/5 知的障害者(児)が「ハバ」養成講座 (生野区自立支援訪問系事業者連絡会)	8/31 みらくるクラブ西穂登山準備会
7/6 みらくるクラブ高取山キャンプ準備会 見学受け入れ(長崎)	9/1 執行委員打ち合わせ①
7/8 Nさん応援会議 強度行動障がい支援リーダー養成研修公開講座参加	9/3 Nさん IFP(個人将来計画)会議
7/9 生野区グループホーム連絡会世話人会 食と農のプロジェクトをすすめる会	9/4 生野区自立支援訪問系事業者連絡会役員会
7/10 生野区自立支援訪問系事業者連絡会 生野区学童期の子ども支援連絡会	9/5 グループホームスタッフ全体会議/執行委員会
7/11 内部研修(精神医学の勉強会)/Sさんケア会議	9/6 Kさんハープ発表会
7/12 すきっぷ土曜開所日	9/9 消防設備等法定点検①
7/13 松野農園オープニングパーティー (食と農のプロジェクトをすすめる会) 生野平和まつりに出演(Yさんチャンゴナベーズ)	9/10 Iさん IFP(個人将来計画)会議/みらくるクラブ西穂登山会議 生野区グループホーム連絡会世話人会
7/14 対府交渉総決起集会・デモ行進	9/11 生野区自立支援訪問系事業者連絡会 みらくるちっぷモニタリング
7/15 三重大学講演(どんどん)	9/12 内部研修(精神医学の勉強会)/Nさんケア会議
7/16 みらくるちっぷ運営会議	9/13~15 みらくるクラブ【西穂登山】
7/17 どんどん見学受け入れ(あいえる) 障大連グループホーム世話人研修会①	9/14 すきっぷ日曜開所日
7/18 WA ロン/障大連市内ブロック会議	9/16 執行委員打ち合わせ②
7/19 『福祉の就職総合フェア 2014 in O S A K A』に参加	9/17 食と農のプロジェクトをすすめる会 生野区学童期の子ども支援連絡会
7/22 作業所ミーティング 生野区自立支援訪問系事業者連絡会世話人会	9/17~25 研修受け入れ(地域支援センターくまとりロンド)
7/24 どんどん・スタッフ合同対府交渉学習会 みらくるクラブ高取山キャンプ会議	9/18 作業所モニタリング/消防設備等法定点検②
7/25 Kさん IFP(個人将来計画)会議/内部研修(精神医学の勉強会) 地域共生ケア生野推進委員会/障大連運営委員会	9/19 執行委員打ち合わせ③/WA ロン 35周年記念パーティー打ち合わせ
7/28 事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議	9/21 みらくるクラブ【木登り】(住之江公園)
	9/22 障大連新人研修会/消防設備等法定点検③ 社会福祉講演会/執行委員会/すきっぷモニタリング
	9/24 松野農園イベント(食と農のプロジェクトをすすめる会)
	9/25 理事会/どんどんプロジェクト会議/大阪府集団指導
	9/26 内部研修(精神医学の勉強会)/地域共生ケア生野推進委員会 障大連運営委員会/Yさん IFP(個人将来計画)会議
	9/29 作業所ミーティング 事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議 吉見ノ里講演(どんどん)/Kさん応援会議

一九八四年八月二十日 第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二二一 東興ビル 4階

頒価百円

へんしゅうこうき  
編集後記

ことし たびだち かい しゅうねん  
今年で出発のなかまの会も 35 周年にな  
り、この秋にはイベントも企画されていま  
す。あき きかく  
40年、50年と会の活動が続いていき、  
ねん ねん かい かつどう つづ  
よりよい社会になっていければと思いま  
す。しゃかい おち  
(シゲヒロ・M)

編集人  
特定非営利活動法人 出発のなかまの会  
〒544-0011  
大阪市生野区田島1-10-30たびだち共働作業所内  
TEL 06-6758-6641  
FAX 06-6758-6749

郵便振替 00910-9-306080  
(特定非営利活動法人 出発のなかまの会)

Eメール infotabidati@oct.zaq.ne.jp  
ホームページ http://www.oct.zaq.ne.jp/tabidati 700部